



笑いで伝える 社会の“おかしさ”

芸人

せやろがいおじさん

YouTubeを始めたときは、社会問題とからめたネタは考えていませんでした。芸人としてずっと沖縄で活動していましたが、基地問題や沖縄の歴史をちゃんと知るようになったのも数年前からです。「せやろがいおじさん」の活動を続けるなかで、徐々に社会で起きている問題を知るきっかけになることや自分の意見を発信していきたいと考えるようになり、今に至ります。

社会問題を笑いで伝える意味は2つあると思っています。ひとつは、興味のない話題でも笑いを通じてだと興味をもてたり、自分とちがう意見だったとしてもそこで起きる摩擦が減ったりすること。かたいものをときほぐすという意味で、社会のいろんな物事を伝えるときに力になるのが笑いだと思います。もうひとつ、権力が暴走してやらかした不祥事とか世の中にある不条理・不合理って、少なからずおかしさを秘めていますよね。「なんでこんなことになってんの？」とツッコミがある。社会で起きているおかしなことにツッコめば風刺として成立します。そう考えると今の社会は笑いの宝庫です。

政治の不祥事などを伝えるときには、「批判しているだけ」と見られることもあります。文句ばかり言う人はいやですが、批判には権力を監視したり問題を改善していく役割



があるはずです。たとえば与党の不祥事を野党が追及することはすごく大事ですよ。権力をもった与党がおかしなことをしていたら、ちゃんと追及して国民にとって良い政治にしていけないといけない。けれど「いつまで言ってんねん」「文句ばかり」という雰囲気にもなっている。社会を良い方向に進めるための批判、最近はその大事さを発信することもテーマにしています。

今、舞台でのお笑いも精力的にやっけていこうと動いています。夏には全国ツアーをやる予定です。芸人なのでやっぱり僕のエネルギーはみなさんの笑い声。でも、残念ながらYouTubeって笑い声が聞こえてこないんです。「www」とコメントをくれることもあるけど、冷静にキーボードを打っているという事は…笑ってはいないな！と思ったり。僕のすばらしいところは(笑)、だれかが喜んでいて自分もうれしいって思えるところなので。ぜひ、みなさんもライブを観にきてください！

(談)



せやろがいおじさんのYouTuberチャンネル
「ワラしがみ」はこちらから

せやろがいおじさん／お笑いコンビ・リップサービスの“ツッコミ担当”榎森耕助。赤Tシャツ・赤ふんどし姿で社会問題などをネタにツッコミまくる。YouTubeチャンネルやTwitterへの動画投稿をはじめ、ライブツアーなども精力的におこない発信を続けている。